

遙か毘婆尸の時より

我らひとしく風であり

世界の理と一つだった

しかし現世に生を受け

命を強いられ率いられ

教育は争いしか教えず

ユキアネサ

熱するのみで休みなく

血は流れども赤くなく

鼓動すれども魂はなく

個人の情緒を培わない

宗教たる集団的事実は

科学にその場を追われ

しかも科学はなお暗く

個々の枝葉を進めども

根幹にはいまだ至らず

巨大に暗い時間の中で

ただ知識のみ膨張させ

自殺と自棄しか負わず

人の幸せを保証しない

過去の蓄積は機能せず

天涯孤独の時代であり

いかようもなく絡まり

ただ青暗くうら寂しい

この透明な使命を感じ

しかし時代に吞まれず

第三次延長の彼方から

われら新たな覚者たれ

なべて自然力を用いて

コトバの源流の引力と

新たな時代を現出せよ

不易な斥力を看破して

菩提樹の聖者とかい

周の大老神君とかい

争いを求めぬ人であ

自己の知性と一生涯に

多くを求める人であ

誰が誰よりどうだとか

誰の仕事がなんだとか

そんなこと関心するな

われら新たな仏陀たれ

我らの上位圏から来る